

発議案第18号

全会一致の議会決議に対し真摯に対応するよう求める決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成27年9月11日

八千代市議会

議長 嵐 芳 隆 様

提出者	八千代市議会議員	横 山 博 美	印
	同	木 下 映 実	印
	同	林 利 彦	印
	同	橋 本 淳	印
	同	堀 口 明 子	印
	同	菅 野 文 男	印
	同	山 口 勇	印

提案理由

市に対し、6月定例会において議会在全会一致で行った決議に真摯に対応し、市政運営に当たるよう強く求める

これが、本案を提出する理由である。

全会一致の議会決議に対し真摯に対応するよう求める決議

議会は、さきの6月定例会において、「UR都市機構と連携した住宅政策の推進を図る決議」及び「新川周辺の文化・スポーツ施設利用者の利便性に配慮した駐車場料金体系の構築を求める決議」を行った。しかも、両決議とも、議会の会派を超え全会一致で行った重たいものである。しかしながら、今定例会における執行部の答弁を聞いていると、市が全会一致の議会決議に対し真摯に対応しているとは全く言い難い。

UR都市機構との協議については、市長からは「今後しっかりと協議に向けて取り組んでいく」との答弁にとどまり、決議から3カ月余りを経た現在でも具体的な協議を行ったということが全くうかがえられない。また、県立八千代広域公園駐車場の料金についても、いまだ「よりよい手法を見定めたい」との段階であり、一定時間の無料化のめどは立っていない。

議会はこのような状況を鑑み、市に対し、全会一致の議会決議に真摯に対応し、市政運営に当たるよう強く求める。

以上、決議する。

平成27年9月29日

八千代市議会